



# 認知症まちづくり 地域円卓会議 in 首里

認知症になっても、生きてきた首里で、いつまでも暮らしたい。  
民間のコミュニティサロンめぐみにできる事は何か？

## 実施報告書

日時： 2023年7月18日(火) 14:00-17:00 (受付開始 13:30～)  
場所： 沖縄県総合福祉センター 501 教室(那覇市首里石嶺町4丁目373-1)  
主催： 沖縄認知症見守りコンソーシアム  
(公益財団法人みらいファンド沖縄、公益社団法人沖縄県地域振興協会)  
共催： NPO法人グランアーク  
協力： NPO法人まちなか研究所わくわく



報告書作成  
NPO 法人まちなか研究所わくわく  
公益財団法人みらいファンド沖縄

## 【報告】認知症まちづくり地域円卓会議 in 首里



- 日時：2023年7月18日(火) 14:00-17:00
- 場所：沖縄県総合福祉センター 501 教室
- 着席者数：8名（論点提供者、司会、記録者含む）
- 来場者数：40名（地域包括支援センター、社会福祉協議会、行政等）
- 主催：沖縄認知症見守りコンソーシアム  
(公益財団法人みらいファンド沖縄、  
公益社団法人沖縄県地域振興協会)
- 共催：NPO 法人グランアーク
- 協力：NPO 法人まちなか研究所わくわく

### 論点提供

### 阿波連 愛香 (NPO 法人グランアーク)

認知症になっても、生きてきた首里で、いつまでも暮らしたい。  
民間のコミュニティサロンめぐみにできる事は何か？

地域みんなで作る健康長寿のためのコミュニティサロン「ゆんたくばあめぐみ」がオープンしました。住み慣れた首里地域で社会参画をしながら生活する高齢者をふやすことを目的としています。今回は特に、認知症の発症があっても、社会参加をしながら地域で役割を持つことで、地域の中で支える側にいる時間を延伸、地域にも重要な資源にもなることができるのではないかと考えています。高齢化の進む首里地域をモデルに、このような拠点の意義とまちづくりをみんなで議論します。

### センターメンバー



阿波連 愛香  
NPO 法人  
グランアーク



大村 千代子  
首里第一民生委員  
児童委員協議会  
副会長



桃原 千佳  
那覇市地域包括  
支援センター石嶺  
センター長



下山 直登  
医療法人好縁会  
理事長



神谷 あゆみ  
那覇市まちづくり  
協働推進課 協働  
推進グループ 主査



田中 将太  
琉球大学 人文社会  
学部 人間社会学科  
講師

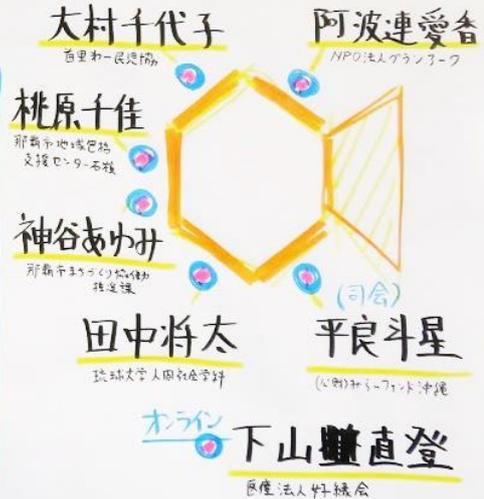
# 認知症まちづくり 地域円卓会議

= 地域の困りごとと社会課題を共有共感する = in首里

2023.7月18日(火) ①  
14:00 ~ 17:00

@ 沖縄県総合福祉センター501

認知症になっても、  
生きてきた首里で、  
いつまでも暮らしたい。  
民間の「コミュニティサロン」  
めぐみにできることは何か？



主催：沖縄認知症見守りコンソーシアム 共催：NPO法人グレンアーク 協力：NPO法人  
(公益財団法人みらいふ沖縄、公益社団法人沖縄県地域振興協会) 認知症研究センター

## ② 論点提供

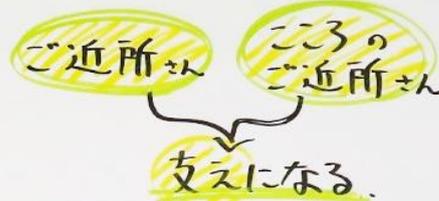
阿波連愛香さん

看護師 | NPO法人グレンアーク / 運営職

お世かひナス

道まよいで安心して  
(認知症) 外出できる

祖父の姉の  
芳子さん  
70代で沖縄へ移る



肉体 価値観・生活態度・行動  
への支障

生き方・人生観  
心(いのち)

ゆんたくばあめぐみ

1日サロン 2023.5月open

首里儀保町1丁目

いつでも  
だれでも  
きてOK

いろいろな活用

認知症カフェ 地域包括支援センター

ご近所先生 民生委員児童委員

学友会

ゆんたく  
ランチ会

県・高齢22.2%  
化率

池端 %

超高齢化社会

介護施設の不足

認知症の  
進行は  
環境によつて  
異なる

社会参加 - 社会とのつながり

すみなれた地域に  
安心して居場所・つながり

できること・役割 支える例にも

生きてきた首里で  
いつまでも暮らしたい。  
ご近所づきあいのような  
コミュニティサロン

サロンめぐみ

認知症の人、そうでない人も  
自分のやりたいおわり方できる

おながみ (翁長奈江子さん)

リハビリの帰りによく行く。  
コーヒーにつられて  
いろんなおもしろい人いる・出会える  
すごく元気になる。

ウォーキングしている  
男性もくる

車だから  
ご近所づきあいのないんだよ〜

大村 千代子 さん

首里ワー民児協

民生委員活動  
25年

誰でも気軽に入れる場

5月にできたばかりなのに  
いろんなとくみはじまっている

認知症カフェ (ピコ) 得意な方  
(特別なことではない。  
わかると支え方がわかる  
(対応の仕方)

「めぐみ」のような場はほしかった

愛着のむかえ入れる力がすごい  
(阿波連)

拠点  
(ハード)



入りやすさ  
とても大事

他にもこうした場あるとよい  
増えている。

桃原 千佳 さん

那覇市地域包括支援センター石嶺

- オレンジカフェ (おろ士)
- 認知症特化型予防教室
- 認知症サポーター養成講座  
(中学校でも開催)
- 首里支番長との情報共有会キ(月)  
(首里地区包括)

居場所 あること } たくさんあること  
声かけ・気かけある } 大切  
だれかに会うこと

食べる・配せ人などできる  
役割

感謝される  
機会

めぐみの  
チャレンジの  
ひしつても  
ある

⑤ 下山直登 さん

医療法人 好縁会

広島からオンライン

「めぐみ」地域に愛される場に

くらしの保健室

図書館・ショッピングセンターで  
 相談会を月回 行っている

常設のチャレンジは、沖縄で  
 (めぐみ)

自由に外出できる  
 ハンディキャップも感じず、  
 地域で暮らしつづける

専門職も学ぶ機会と  
 地域も 知識/スキル

⑥ 神谷 あゆみ

那覇市 まちづくり協働推進課

拠点 公民館でも学校でもない

↑  
 コミュニティセンター 地域連携室

小学校区まちづくり協議会

城西小)担当  
 城南小)

地域の課題

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  
 各種団体

校区  
 まちづくり  
 協議会

心のご近所は  
 校区でつくって  
 いけるかも。

- 情報の共有
- 補完的役割

⑥ 田中将太 先生

琉球大学 人文社会学部 人間社会学科

共生・平和長崎  
自転車隊

神奈川県  
川崎市

廃校跡利用

「夢パーク」

農業×福祉×地域防災

住民参加型在宅福祉サセス団体全国連絡会

子どもの居場所

元気な子  
 が  
 支えている

（制度）  
 みる

コミュニティサロン

（自主活動）  
 みる

地域密着  
人口

- 1:1に近い
- 住民の自主活動とい
- 啓発

子育て中  
 高齢者 { 元気  
 今が一番 } 人口99%  
 プレイヤーとい

サブセッション.

運営資金  
マチヤグー  
いきじびきの方  
長老まきこみ

自信につながる  
もあいの参加  
スックになる人  
いれば  
ホッできる場  
子もまたも入れると

しきいの低い

条件は?

高齢者だけ  
ない

いろいろあるよネ

今ある場を活用

歩いて行ける

開く

居場所

その人も生かす

得意なこと

役割

なら県  
にま市  
事務

おん

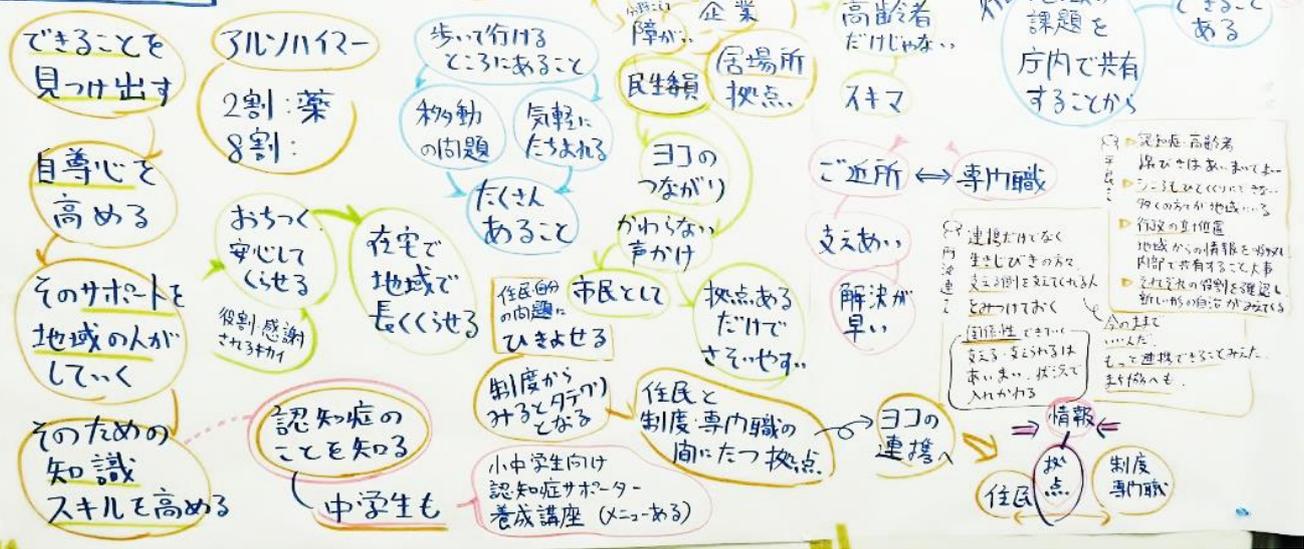
おはちゃん

声かけまきこみ力

周辺症状が

明らかにかわっていく

セッション2



➤ 今後のアプローチの方向性（提案）

- 歩いていけること・多くの選択肢があること・自由に当事者で決められること・認知症かどうかの線引は曖昧で良いこと。めぐみのような新しい居場所のコンセプトを市民で合意したい。
- この居場所の存続のための役割分担を多くの参画によって考えること。行政もこの場から地域の課題を吸収する機能を持ち、施策に反映をすること。

## ■参加者によるサブセッション

### 認知症になっても、生きてきた首里で、いつまでも暮らしたい。

#### 民間のコミュニティサロンめぐみにできる事は何か？

(参加者記載の原文をそのまま記載している為、事実と異なることがあります。グループ毎に①、②・・・と記載)

- ①
- ・ 地域の認知症、交番と連携
  - ・ サロンがあると助かるけど数が足りない
  - ・ 社会参加をどうするか？
  - ・ 障がいを持っている人も社会との接点が大  
切
  - ・ 対象をしぼらない  
地域の拠点は大切
  - ・ 昔の商店街のおしゃべりの場のような…。
  - ・ サロンでの健康チェックも出来ると思う。
  - ・ フラッと立ち寄った人の健康も…。
  - ・ 包括、行政の区分が柔軟であってほしい
  - ・ ゆんたくバーとか、いくつか居場所があればいいなあ。
  - ・ 居場所は歩いていけるキョリであると良い
- ②
- ・ 地域、広報誌で周知していく
  - ・ 継続していくこと、急に場がなくなると
- ③
- ・ 認知症は特別なことではない  
今までの生活を崩さないで皆で少しずつ協  
力する  
得意分野／特技を活かす  
周りも見つけながら居場所には大事
  - ・ 先進 奈良県生駒市  
小さいド田舎だけどボランティア数日本一  
「役割を与えてしゅうへん症状が改善」
  - ・ グランアークの居場所敷居も高くなく、来  
てる方も自然に会話が弾んでる
  - ・ 認知症の方＝支えられる側という認識を持
- ちがちだが、地域で粹割をもつことが胸は  
っていきいける
- ・ こういう場所が増えるといい  
介護保険の中でサービスを提供  
(地域が壊れた、と言われることも・・・)  
卒業してもいける場所、本人が自分で行き  
たいと思える場所
- ④
- 運営＝休眠預金を活用  
県内6事業所(3年間)
  - 住みなれた地域で住みつづけるには？
    - ・ マチヤグァーにつどっていた(とみしろ)
    - ・ 生き辞引的な方のもとへ相談でみんながつ  
どう。
    - ・ 地域の長老(リーダー的な人)を大切に！
    - ・ 模合の座もと、最初は不安だったけどつづ  
けることで自信に(関わり)(家族のサポ  
ート)
    - ・ 御近所大切！
    - ・ 認知症になってもフックになる(きっかけ  
になる)そういう人の存在が大切
    - ・ ほっとできるたのしい場所があること、大  
切
    - ・ 最初からみんなkとつながるのではなく、  
応援してくれるところから少しずつつなが  
る。
    - ・ 高レイ者のコミュニティに子どもも入れる  
といい。不審者も減りそう。
    - ・ 世代間の食事もよさそう！親に言われるよ  
り、おじいちゃんおばあちゃんに言われた  
方が受け入れそう。

## ⑤

- ・ 都市化したまちに居場所が必要  
(隣近所のコミュニティが無い)
- ・ 離島やよみたんでは地域コミュニティで見守れているかも！
- ・ どのように居場所を開設したのか。
- ・ 物件（オープンな）も大切。

## ⑥

- ・ アハレンさん常にいる  
居場所（いつもある）と人大事  
当事者と関係者のつながり
- ・ 役割大きい、  
相談できる、気軽に立ち寄れる  
民間の予算、継続できるのか
- ・ 財源  
〔めぐみにできること〕  
認知症への理解深める場  
住民への福祉教育  
啓発機能
- ・ 人とのつながり生まれる場  
参加者の生きがい 元気 認知症予防
- ・ 校区まちづくり協議会への参画  
住民にしてほしいことを言ってほしい
- ・ 子ども向けのサポーター養成  
特別ではない、学ぶ場
- ・ 都市計画→歩いて暮らせるまちづくり
- ・ もっとサロンをつくってほしい  
認知症 気分が変わる  
いつでも行けるのは大きい  
スタッフのカクホ

## ⑦

- ・ めぐみに出来ること  
→ 口コミ、安心出来る場所  
→ 困ってる人も飛びこんでくる  
→ 興味を持ってる
- ・ 声かけ 認知症、みんなに対してあいさつ

- ・ 見守り 地域で最近見ないけどあの人どうした～？見てきて～
- ・ 月1回お弁当会  
→ 食べながらゆんたく  
→ 場所（器）は大事  
ゆんたく会  
→ おしゃべり出来る ストレス貯めない場  
みんなから元気をもらう 横のつながり  
→ 集会場の準備大変  
知念商店→イス  
→ 情報を民生員の方へ→ 包括へ  
ボランティア

## ⑧

- ・ 講演会などでの知る機会
- ・ 本人の受容や、周りの理解

## ⑨

- ・ 包括だけで地域を支えることが厳しくなってる  
→ めぐみが補完してくれてる
- ・ 地域企業との連携が大事
- ・ 地域の声が行政の方に届いているのか？
- ・ 集まれる場の継続していけるしくみづくりが大切と思いました。
- ・ 子供や子育て世代等違う世代との交流も大事

## ⑩

- ・ “おせっかい”の復権
- ・ 未経験の若い人にどう伝えるか？
- ・ 「生まれた時からコミュニティが希薄」
- ・ みんながその人のことを知っている。
- ・ 地域の中で他人の子どももしかれた頃を知っている（体験している）人たち（60代）は「あれをしよう」と思える。
- ・ 玄関じゃなく、ガラス戸から道から直接出入りできるのがめぐみのいいところ。

# 認知症まちづくり地域円卓会議 in 首里

## 参加者アンケート集計

### ◆概要

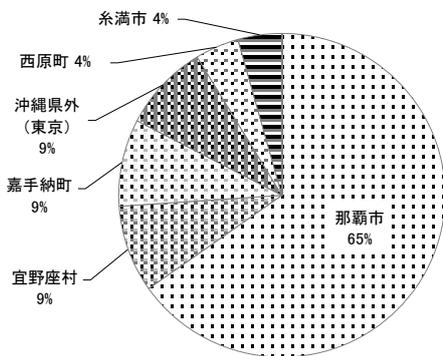
- ・日時：2023年7月18日（火）14:00～17:00
- ・場所：沖縄県総合福祉センター 501 教室
- ・着席者：8名（論点提供者、司会、記録者含む）
- ・参加者：40名（アンケート回収23名、回収58%）

### 4. 満足度

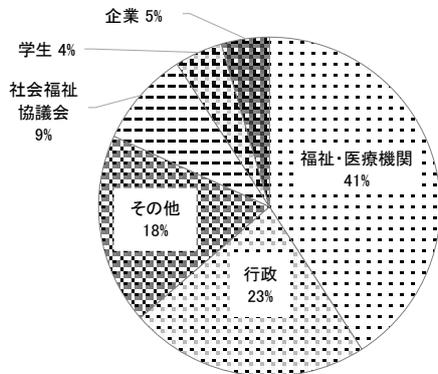
平均：4.8（5点中）

5. 満足	4. 概ね満足	3. 普通	2. あまり満足していない	1. 不満足
18名	5名	0名	0名	0名

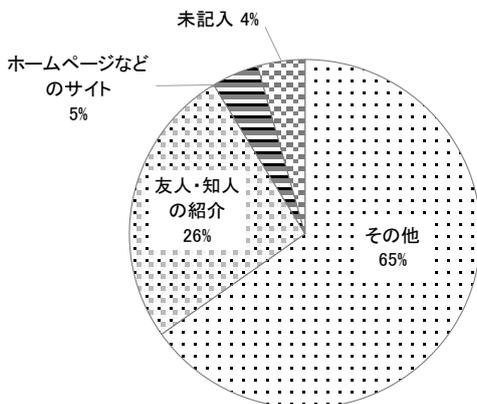
### 1. どちらから？



### 2. 所属



### 3. 円卓会議はどのように知ったか



### 5. 満足度の理由

#### （5. 満足）

- ・ 認知症をメインとしてのテーマでしたが、地域づくりについてあらためて考えさせられる時間になったため
- ・ めぐみの活動を知れた。今後の連携、協働を考えるきっかけとなった。
- ・ 校区のあり方や行政の立ち位置など改めて認識することができました。めぐみやその他地域のみなさんの”力”がすばらしいと感じこれを活かしていきたいです。
- ・ 首里在中として知らなかっためぐみの存在や地域の取り組み、民生委員の考え等を聞くことが出来た。今後自分が出来ることは！？
- ・ 石嶺小学校で何が出来るか考えることが出来た。おせっかい大事ですね。
- ・ 会の流れ、内容、とても分かりやすく勉強になりました。皆「あるといい」とはわかっているけれども、実際につくるのは難しいと思います。今回の参加者のいろいろな意見をきいて、自分の地域でもできるような居場所づくりを考えたいと思います。
- ・ 皆さんの貴重なご意見ありがたかったです。会議が完璧に進行されていて大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 論点に対して様々な関係者からの視点を共有することで、いろんな気づきにつながっている様子がとても勉強になりました。サ

ブセッションでは意見交換をすることができとてもよかったです。

- ・ 地域を知る、住んでいる人を知る、興味を持つことの大切さを改めて感じました。
- ・ いろいろな方の意見がきけた
- ・ 地域、関係団体とのつながりを改めて考える場となりました。住民（支え合う）がいるからこそできているつながり、仕組みが多くあることに感謝して、そこに添える関わりができればと思いました。
- ・ 知らなかったこともわかった
- ・ 今回は講義の一環で参加し、今まで円卓会議自体初めてだったが、有意義な時間を過ごせた。
- ・ 行政、民間企業（めぐみさん）、民生委員さん、田中先生等、地域に関わっている方々の意見を聞く場、一気に聞くことができとても学びになりました。
- ・ 入りやすい場所、横のつながり、情報が集まる拠点が大事
- ・ めぐみの取組を知れて良かった。どんどん活動が広がって欲しいです。
- ・ 新たな気づきと、大きな可能性を感じました。

#### （4. 概ね満足）

- ・ 阿波連さんによるサロンのとりくみや、おながさんのとりくみの具体例がとてもよかった。
- ・ いろんなフィールド参加者も含め、立場の方から話をきくことができました。ありがとうございました。
- ・ 平良さんが論点をしぼり引き出す事ができていたので、とても参加していてわかりやすかったです。私もファシリテーションの専門教育は受けていますが、メモもほとんどらずに話の中で構成していくコーディネータ力がすごいと思いました。
- ・ セッション1が長く感じました。行政側、包括、色んな方の声がきけてよかったです。

- ・ 先進的な取り組みが知れて良かった。

#### 6. 円卓会議で印象に残ったこと

- ・ 住民の課題には「たてわり」にない。行政は自分の守備範囲目線でしたか、地域を見ないことがたてわりの発端になってしまうという田中先生の言葉は考えさせられました。地域の課題や情報を行政、包括、コミュニティ、ご近所さんそれぞれ強みを活かした連携が出来たらいいと思います。
- ・ 歩いて行ける拠点、子どもたちへの〇〇サポート講座、場所と人
- ・ 「ここのご近所さん」がキーワードとして持ち返ります。
- ・ 地域住民と同じ視点でものを見ること。めぐみが行政と住民のかけ橋になること。
- ・ ”心のご近所”素てきです。参考になるお話がたくさんありました。
- ・ 心のご近所さん+距離のご近所で支え合いができる。拠点として入りやすい場所のハード面と人を引き込む+迎え入れる力があるソフト面が大事。今ある場所から活用していく。
- ・ 自分自身のことに置きかえると今の内から支える=支えられる方（関係）を探しておこうと思いました。高齢者、認知症など対象をあいまいにしてよいのだ！と再認識できました。
- ・ 場所だけでなく”人”というところは重要だと思いました。認知症の人だけではない誰でも集いたくなる場所がある、人がいるということはとてもよいと思いました。
- ・ とてもわかりやすい進行でした。
- ・ 心のつながりの大切さを学びました。
- ・ 認知症だから、高齢者だからといって支える側と支えられる側を分けて考えるのではなく支え合うy関係性が築ければと感じた。
- ・ 心のご近所というのがキーワードだと感じました。気軽にあつまって「誰でも来れる場」

が心のご近所につながっているんだと感じました。

- ・ 心のご近所
- ・ 5月開所でありながらすでに地域での拠点として確立していること
- ・ いつでも立ち寄れる居場所をつくっていること
- ・ 阿波連さんの素敵な熱意にいつも感心しています。人がたくさんあつまるんだなど感じています。市としても何ができるか今後学ばせてもらいながら一緒に検討できたらと思います。いつもありがとうございます。
- ・ 認知症は特別な事ではない、普通に接して普通に対応すれば良い。今までの生活をくずさずにする事が大事。みんなで少しずつ力を発揮しあえば良いという言葉が印象的でした。
- ・ 人と人をつなぐ方がいる拠点が身近にあること、いいなーと思いました。福祉って分野を分けがちですが、もっとあいまいだといいなと思いました。

(写真) 会場の様子





- ・ アイルランドに...  
 居場所と人々  
 当事者と関係者のマインド

- ・ 役割大まか... 負担に立寄れる。  
 相模町民。民間の手筈。地域にどうなのか。
- ・ 財源。

- ・ 認知症は特別なことでない  
 今の生活で前より"皆"で対応  
 出来る  
 娯楽の場や/特設施設が  
 同様に見つかるのが居場所づくり

- ・ 認知症発生の中  
 100%の認知症が認知症日誌  
 「認知症をどう支えるか」

[めざすこと]

- ・ 認知症への理解を促す  
 住民への福祉教育  
 認知症
- ・ 人とのつながりづくり  
 当事者の生活... 認知症
- ・ 地域福祉協議会への参画  
 住民に... 認知症
- ・ 子ども向けのサポーター養成  
 特別支援... 認知症
- ・ 都市計画... 認知症
- ・ 福祉センター... 認知症

- ・ 認知症の居場所  
 数箇所を設けて、認知症を自然に受け  
 入れる

- ・ 認知症の方 = 支障が... 認知症  
 地域で「認知症を...」

- ・ 認知症の場所を増やすこと  
 介護保険の中で「サ-ビス提供  
 事業」... 認知症  
 認知症と関係する場所

(認知症... 認知症)

都市化したまちに  
居場所が必要  
(隣り近所~~の~~  
コミュニティが無い)

離島やよみたんでは、  
地域コミュニティで  
見守れているかも!

- ・どのように居場所を開設したのか。
- ・物件(オープン)も大切。

家  
〇コミ、安代出来る場所  
困ってる人を救い出してる  
趣味を持つ  
めぐみに出ること

- ・ 声かけ 忘れ知れ、みんなに対して  
あいさつ
- ・ 見守り 地域で「最近良くなったか  
あの人どうした〜? 見に来て〜
- ・ 月1回お年当会 - 食べながらゆんたく  
- 場所(器)は大事  
ゆんたく会 - おしんぱり出来る  
ストレス解消の場  
ゆんたくの準備大変 だ ~~おしんぱり~~  
田舎の商店 → 12 横のつながり  
→ 情報を民生員の手へ - 抱きか  
ボランティア

地域、広報誌で周知していく。  
継続していくこと。急に2人がなくなると

・地域の認知症・交番と  
連携

・サロンがあると助かるけど  
数が足りない

・社会参加をどうするの？

①障がいを持っている人も社会

との接点が大切 ②

・対象をしぼらない

地域の拠点は大切

・昔の商店街のおしゃべり  
の場がある……。

・サロンでの健康チェックも  
出来る~~と~~いいと思う。

・フラ…と立ち寄り、人の健康も……。

・包括、行政の区分③

が、柔軟であってほしい

①WATにコンビニか、いくつか  
居場所があればいい  
なあ。

②居場所を歩いていける  
場所があると、いい。